

年月日

20 | 11 | 19

ページ

11

No.

ちよつと訪問

日本トリム子会社のスティーメセル研究所は、ヘモグロビンの長期保管サービスを手がける。子どもが生まれてから採取し、48時間以内に細胞凍結センターへと運び入れ、必要な加工を施す。生まれた子どもや兄弟が将来、低酸素性虚血脳症などを発症した場合、治療に使える可能性がある。

システムセル研究所



清水社長

▽所在地 東京都港区新橋
5の22の10、03・540
8・5279▽資本金=3
億7482万円▽売上高=
約17億円(20年3月期)▽
従業員=82人▽設立=99年
(平11)8月

清水崇文社長は「それぞれの臍帯血を使うため、取り違えがあつてはならぬ。品質に関する情報と元管理している」と話す。近年、羊水や胎盤などの前進する。領域にネットワークをもつ同社は、これらの保管も手がけたい考えだ。自身の組織で病を治す未来に向かって、

臍帶血長期保管サービス

無断転載・複写禁止©(株)日刊工業新聞社